

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		生態人類学Ⅰ Ecological AnthropologyⅠ				担当者所属 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 安岡 宏和	
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	地域・文化(基礎)			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
生態人類学とは、人間社会と生態系の関係についてフィールドワークをとおして研究する学問である。本講義では、人間社会と生態系の関係のあり方が、人間以外の動物と比較して、どのように特殊であるかについて、とりわけ狩猟採集社会において生態系から得られた資源をどのように配分しているかに着目しながら論じる。									
[到達目標]									
人間社会と生態系の関係のあり方が、人間以外の動物とどのように異なっているか、どれほどのポテンシャルの幅を持っているかについて、複数の論点をあげながら論じることができるようになる。									
[授業計画と内容]									
第1回 イントロダクション 第2回 生態系のなかのヒト 第3回 霊長類のなかのヒト 第4回 ヒトの生態と社会のなりたち（1） 第5回 ヒトの生態と社会のなりたち（2） 第6回 バカ・ピグミーの生活と文化（1） 第7回 バカ・ピグミーの生活と文化（2） 第8回 遊動型狩猟採集社会の特徴（1） 第9回 遊動型狩猟採集社会の特徴（2） 第10回 ゾウ肉タブーの謎（1） 第11回 ゾウ肉タブーの謎（2） 第12回 〈交換〉の人類学（1） 第13回 〈交換〉の人類学（2） 第14回 〈交換〉の人類学（3） 第15回 総括 フィードバック方法は別途連絡します。									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
レポート									
[教科書]									
使用しない									
-----生態人類学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓-----									

生態人類学Ⅰ(2)

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

(関連URL)

<https://sites.google.com/site/casinkyoto/>(中部アフリカ研究 in Kyoto)

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に紹介した文献を読むこと。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィス・アワーは水曜2限としますが、事前に連絡があればその他の時間にも対応できます。

[主要授業科目（学部・学科名）]